



協会だより

Japan Tourism Facilities Association

No.157



7 月

発行／公益社団法人国際観光施設協会

総務委員会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋

2-8-5 多幸ビル九段2階

TEL03-3263-4844

FAX03-3263-4845

E-mail: kankou01@syd.odn.ne.jp

URL: <http://www.kankou-fa.jp>

2026年7月3日

観光と建築

副会長 大内 政男

観光の3要素と言われるものをご存知でしょうか。AIによる答えは『観光学において観光という行動や現象を成立させるために不可欠な3つの構成要素、「観光主体、観光客体、観光媒体」を指し、「観光主体」は旅行者、それを観る人体験する人、「観光客体」は目的となる自然や歴史的建築物、文化、イベント、食、温泉などの資源、「観光媒体」は移動を可能とする交通機関や宿泊施設、ガイドブックなどの情報』という事になります。この内、建築や建物が構成する町や都市が3要素の2つ、「観光客体」と「観光媒体」に相当します。そう考えると建築と観光とは不可分な関係にあると言ってよいと思います。もともと建築は古来より観光の目的となっていて、「お伊勢参り」は神宮の神々しい環境の中で心新たかにする事と合わせ、その道中の宿場や景観を楽しむ観光旅行でもありました。こうした建築や町を巡る旅は今日でも観光の主たる目的であり、ヨーロッパの建築や町並み食事を楽しみ、文化芸術に触れて古城などのホテルに滞在する旅はまさにその典型例であり、日本でも重要文化財や世界文化遺産に登録された古都古社寺は季節を問わず、多くの旅行者の観光の対象となっています。

一方で建築を巡る旅には近年新たな傾向がみられます。観光の対象が古都古社寺だけではなく近現代建築、明治、大正、昭和初期から戦後も含めた広範な建築物に文化的歴史的な価値を見出し、それらを地域の財産として捉え、観光を通して地域振興につなげようとする動きです。この背景にはこうした建築とそれらが創り出す町並みや環境の価値が、建築や都市の専門家や行政による後押しだけではなく、

広く一般の市民にも理解されてきたことが背景にあります。青森県弘前市には前川國男が設計した市役所や公会堂など8つの建築が現存し、現在も大事に使われています。前川の母親が弘前藩士の子であった縁もあり、弘前に残る他の歴史的文化的建築や町並みと合わせ観光目的地としての価値を大いに高めています。滋賀県近江八幡市では安土城跡や八幡堀などの歴史的観光資源と共に明治後期から昭和初期までの12のヴォーリズ建築があり、これらを歴史的町並みと関連付けて観光地としての差別化に成功しています。他にも多くの地方都市や町で、その町の建築を取り込んだ観光が定着しています。

更に建築に関する様々なイベントも人気を得て多くの人を引きつけています。「イケフェス大阪（生きた建築フェスティバル）」や「東京建築祭」などでは文化財指定の建築だけではなく、企業の本社ビルや大使館など普段は開放されていない建築を見聞し、所有者や使用者、研究者の専門的な話を聞くことが出来、人々の都市や建築への関心を高め、親しみを覚えるきっかけにもなっています。我が町の建築の歴史的文化的な価値を知ることは、観光の振興の第一歩になります。

日本には全国各地に多くの歴史的文化的価値のある建築が日常生活空間の中に存在します。有名建築に限らず、こうした建築を再評価して地域の歴史や文化との関連を解き明かし、新たな観光的価値を創造する事で旅の目的地が全国にひろがり、観光という行為が真に地域の振興と結びつくのではないのでしょうか。

令和8年度通常総会の結果報告

事務局長 清水 康之

去る6月15日、ホテルメトロポリタンエドモントにおいて、令和8年度通常総会を開催いたしました。
総会に先立ち、観光庁審議官 田中賢二様よりご挨拶をいただきました。

総会では、令和7年度事業報告、令和7年度収支決算報告、定款の一部変更の件、推薦会員の件について審議が行われ、いずれも原案どおり承認されました。また、令和8年度事業計画及び収支計画について報告が行われました。

第4号議案「推薦会員の件」では、追手門学院大学 地域創造学部 地域創造学科 教授 岡田美奈子氏が推薦会員として承認されました。岡田氏は持続可能な観光地域経営や観光コンテンツ強化に関する豊富な知見と実績を有し、当協会の活動に対し、専門的な見地からご指導をいただくこととなりました。

【委員・幹事永年表彰】

議案採決終了後には永年功労者表彰が行われ、長年にわたり協会活動に尽力された次の方々が表彰されました。

坂井 洋文氏（LIXIL） 山崎 利也氏（メック・デザイン・インターナショナル）

【新入会員】

新入会員の紹介が行われ、昨年の総会以降に入会された15社・団体が紹介されました。

ヒロユキスズキスタジオ合同会社 鈴木裕幸
株式会社鹿田産業
株式会社エーアンドエーマテリアル
一般社団法人宿泊施設関連協会
株式会社船場
株式会社近畿日本ツーリスト
株式会社アーキンド
ゼネラルヒートポンプ工業株式会社

株式会社ふらっとけあ
株式会社メガクリエイト
有限会社金照堂
檜創建株式会社
共創計画研究所 吉川 実
戸田建設株式会社
株式会社青芳

〈入会順・敬称略〉

総会終了後には総会関連行事としてセミナー及び情報交歓会が開催されました。情報交歓会では、日本観光振興協会理事長 最明仁様、全日本ホテル連盟会長 清水嗣能様よりご祝辞をいただきました。

また、その間に当協会相談役・名誉副会長であり、GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）チェアパーソンを務める涌井史郎様よりご挨拶をいただきました。涌井様からは、GREEN×EXPO 2027の開催意義や準備状況についてご紹介いただくとともに、今後の協会との連携や観光分野への期待についてお話しいただきました。

終始和やかな雰囲気の中、多くの会員・来賓の皆様との交流が図られ、盛会のうちに終了いたしました。

・総会出席者 165名〔出席 70名・委任状 95名〕

・セミナー参加者 130名/情報交歓会参加者 132名〔招待者含む〕

総会関連行事セミナー

「都市と地方をかきまぜる」講演会の報告

事業委員会 委員長 岡野 正人

6月15日の総会終了後、同会場において総会関連行事セミナーを開催しました。

今年は、株式会社雨風太陽 代表取締役社長の高橋博之氏を講師にお迎えし、「都市と地方をかきまぜる」をテーマにご講演いただきました。

高橋氏は、地域と都市をつなぐ様々な取組や、地方創生に関する豊富な経験をもとに、人口減少や地域課題に向き合う中で生まれた新たな価値や可能性について、具体的な事例を交えながら分かりやすく紹介されました。

また、地域に根差した人々の活動や交流の重要性、都市と地方が互いの強みを生かしながら連携していくことの意義についても、熱くお話しいただきまし

た。画像資料を一切使わない講演は参加者に多くの示唆を与える内容となりました。

会場には130名が参加し、熱心に耳を傾ける姿が見られました。講演終了後も多くの参加者から好評の声が寄せられ、大変有意義なセミナーとなりました。



☆新入会員紹介☆ (申込順)

[正会員/個人]

吉川 実

共創計画研究所

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 3-3-1

西新宿水間ビル 6 階

営業内容:不動産・建設コンサルタント

[正会員/製造業・販売業及び施工業]

戸田建設株式会社

(代表者)代表取締役社長 大谷清介

(担当者)イノベーション推進統轄部 部長

黒瀬義機

〒104-0031 東京都中央区京橋 1-7-1TODA BUILDING

TEL0570-0027-05 (ナビダイヤル)

営業内容: 建築一式工事、土木一式工事コンサルティング業務、不動産再生可能エネルギー業務等

[正会員/製造業・販売業及び施工業]

株式会社青芳

(代表者)代表取締役社長 青柳修次

(担当者)開発・飲食事業部 部長 遠藤眞理

〒959-1276 新潟県燕市小池 5143 番地

TEL0256-63-3442 FAX0256-63-3243

営業内容:レジンテーブル・家具の製造/産業観光推進施設の運営

編集後記

今年もあっという間に半年が過ぎ、夏至を越えて、夏休みの計画を準備する頃でしょうか？

今朝の散歩道で、

「車椅子の方はお声がけくださいー段差はあってもこころのバリアフリーでお待ちしています」というシールを拾いました。

段差はあってもなくても、車椅子でもそうでなくでも心のバリアフリーはあると嬉しいのに。

とふと思ってしまいました。

何かしら不自由なことがあっても、

少し手を借りたり、ちょっとだけ配慮があれば不自由なことも可能性に変わります。

空間的な「バリアフリー」に関することをお仕事で携わる会員のみなさまも多いと思いますが、

「バリア」は勝手に作る側、受け取り手側の意識によるし、捉え方次第だと都度都度思います。

工夫と解釈でも自由なクリエイティブなアウトプットに変えていきたいです。

梅雨明け待ち遠しい日々、今年も暑くなりそうですがそんな日本の夏をうまく楽しみたいところです。

平野智子

第 120 回ゴルフ会結果報告と次回予告

HOP 会 会長代行 杉浦 司

春のゴルフ会が 6 月 2 日(火)に「PGM 武蔵ゴルフクラブ」にて開催されました。

当日は絶好の天気恵まれ、6 組で競技が行われました。難コースに苦戦しながらも大激戦を制したのは、総合デザインの横田様で、第 119 回からの連覇達成でした。参加企業の皆様からの協賛のお陰で、表彰パーティも大変盛り上がり、楽しい親睦の場となりました。

次回は茨城ゴルフ倶楽部にて計画する予定です。多数の参加をお待ちしています。国際観光施設協会の秋のゴルフコンペを下記のとおり開催致します。

日 時:2026 年 11 月 26 日(木)

受付 7 時 45 分 集合:8 時 45 分

場 所:茨城ゴルフ倶楽部